



さんにちだより

荒川区立第三日暮里小学校

発行日 令和4年4月6日

発行者 校長 末永 寿宣

4月号

学校目標
考える子
たくましい子
思いやりの
ある子

「たくましい子」に育てほしい

～何があってもへこたれない子どもの育成を目指して

校長 末永 寿宣

希望を胸いっぱいにした新一年生72名、全児童429名の登校とともに、本校の令和4年度がスタートしました。今年度も教育活動の充実に向け、職員一同全力で取り組んでまいります。保護者・地域の皆様方の本校教育活動への更なるご理解とご協力をお願いいたします。

今年度の学校経営方針としまして、以下のとおり基本理念について説明させていただきます。

1 基本理念

地域と一体となり、「児童中心主義を貫く学校づくり」を学校経営の基盤とし、何があってもへこたれない子をめざし、心を豊かに育てます。

感染症防止のための3条件「密閉・密集・密接の排除」を徹底し、児童の安全を確保します。

「児童中心主義」とは、子供におもねるのではなく、子供の発達の可能性を見極め、可能性を伸ばすことをいつも念頭に置いて、以下の五点を重点に置き、児童を育てることです。

- (1) 児童の人格とその独自性を認め、児童の活動・興味・自発性を尊重します。
- (2) 児童を教師中心の考え方のみで教え、しつけるのではなく、児童の個性を見極めながら能力を発見し、伸ばしていく「児童の応援団」となります。
- (3) 地域と一体となって、すべての児童をすべての教職員で育てていきます。
- (4) 権利だけでなく、義務や自己責任についても十分指導します。
- (5) 人の話を聞く姿勢や自分の考えを論理的に表現する能力を身につかせます。

2 教育重点目標 ◎「たくましい子」

(「考える子 たくましい子 思いやりのある子」)

3 目指す学校像、児童像、教師像

(1) 目指す学校像

- ア 笑顔があふれ、歌声が響きあう、一人一人が輝く学校
- イ 教職員・児童がともに感動し、誇りをもつ学校
- ウ 児童・保護者満足度と教職員の満足度が高い学校

(2) 目指す児童像

- ア 「あ」 進んであいさつをし、礼儀正しい子
- イ 「い」 自分の命を大切にし、他者の命も同じように大切に
にする子
- ウ 「う」 進んで運動し、体を鍛えようとする子
- エ 「え」 笑顔を忘れず、他者と穏やかに関われる子
- オ 「お」 思いやりがあり、気づき、考え、実行する子

(3) 目指す教師像

- ア 愛情、情熱、高い倫理観と社会的常識、実践的指導力を備えた教師
- イ 思いやりがあり、人権尊重を基盤とし、児童に平等に接する教師
- ウ 常に児童に寄り添い、児童の変化を見逃さず、即座に対応する教師
- エ 自己の職責を自覚し、率先垂範する教師

→そのために「3・3・3」のスタートを大切にします。「3＝初めの3日間、3＝初めの3週間、3＝初めの3カ月」



令和4年度学校要覧